

没後  
30年

代表作『巴里に死す』を読む  
芹沢光治良の文学精神

画像提供：沼津市芹沢光治良記念館（昭和40年、『人間の運命』執筆中、自宅書斎にて）

芹沢光治良の代表作『巴里に死す』をテーマに  
講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

令和5年

7月29日(土)

14時から15時30分(開場13時45分)

参加無料



講師

芹沢光治良記念文化財団 代表理事

勝呂 奏 (すぐろ すすむ) 氏

1955年、静岡県生まれ。現在、桜美林大学リベラルアーツ学群教授。専門は日本近現代文学。著書に『評伝芹沢光治良—同伴する作家(エクリバン)—』(翰林書房、2008年)ほか。日本キリスト教文学会賞(2008年度)受賞。

会場 みらいステップなかの 教育センター研修室 (図書館と同じ建物の10階です)

定員 30名 (予約申込制/先着順)

対象 一般

申込 7月8日(土) 午前9時から受付開始

中野東図書館7階カウンター又はお電話にて受付いたします。

※ 定員に達し次第、申込終了とさせていただきます。

※ 感染症の拡大状況によっては対策をお願いすることがあります。

中野区立中野東図書館

中野区立図書館指定管理者  
ヴィアックス・紀伊國屋書店共同事業体

問い合わせ先：中野東図書館  
TEL 03-5937-3559



中野区立図書館 HP